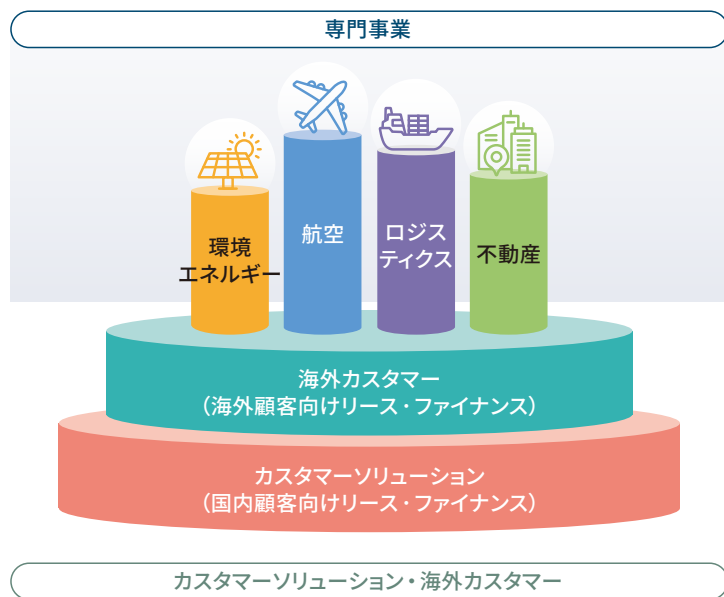


事業ポートフォリオ

当社グループは、安定収益基盤であるカスタマーソリューションと海外カスタマーを土台に、リスク・リターンが相対的に高い4つの専門事業を展開しています。4つの専門事業は、市況変動のタイミングや規模が必ずしも一致しないため、ボラティリティを補完し合う関係にあります。こうした事業ポートフォリオ構造により、当社グループ全体として収益の変動を抑え、安定的な成長を実現していることが強みです。



カスタマーソリューション・海外カスタマーの特徴

- リース・ファイナンスを中心としたビジネス
- リース収入などの安定したインカムゲインが中心で、4つの専門事業と比べてボラティリティが相対的に低く、安定した収益を稼ぐ基盤事業
- さまざまなお客さまと強固な関係構築を図ることができるビジネス創出のベース

専門事業の特徴

- 海上コンテナや航空機などのリース事業、発電事業、不動産事業と幅広い事業をグローバルに展開
- リース収入などの安定したインカムゲインと、資産売却によるキャピタルゲインの両輪で稼ぐビジネス
- 4つの事業がボラティリティを補完し合いつつ利益成長を牽引

カスタマーソリューション



主な事業内容

法人・官公庁向けファイナンスソリューション事業、省エネソリューション事業、ベンダーと提携した販売金融事業、不動産リース事業、金融サービス事業

強み

- お客さまとの豊富な接点や深いリレーション
- 三菱UFJフィナンシャル・グループ、三菱商事、日立グループをはじめとしたパートナー企業との強固な関係
- お客さまとの取引を通じた、多種多様なアセットとデータ

プレゼンス／ポテンシャル

トータルサポートPC保有台数	300万台
リース満了物件 リユース/リサイクル率	96%
顧客向け建物リース保有棟数 (商業施設・物流倉庫等)	約1,800棟
高性能半導体製造設備・ 機器取扱高	約170億円
脱炭素関連資産 ^{※1} 2025年度リース契約額	702億円
※1 再生可能エネルギー資産等	

海外カスタマー



主な事業内容

欧州、米州、アジア・オセアニアの顧客層に産業機器、商用車、建設機械、IT機器など幅広いアセットを対象にファイナンスサービスを提供

強み

- 欧州、米州、アジア・オセアニアの20以上の拠点を活かした、本邦リース会社トップレベルの地域横断の強固な海外ネットワーク
- 海外事業における多様な商品ラインアップと幅広い顧客基盤、ならびにそれを支える多様性に富んだ人財

プレゼンス／ポテンシャル

欧州 欧州事業の中核会社である Mitsubishi HC Capital UK (以下、MHCUK) 車両リース部門の管理車両台数 (2025年11月現在)	英国6位
アセットファイナンスUK Top50において、MHCUKの取引額 (2026年7月発表。法人向け金融部門、車両リース部門、販売金融部門含む)	英国5位
米州 米州事業の中核会社である Mitsubishi HC Capital America の総資産額 (2025年6月発表「The 100 Largest Equipment Finance / Leasing Company in the U.S. (By Assets)」)	米国26位

(注) 記載の数値・情報は、() 内に時点の記載がない限り、2026年3月末時点。

事業ポートフォリオ



環境エネルギー



主な事業内容

再生可能エネルギー事業(太陽光、陸上風力、蓄電池)
および水素・次世代太陽電池等を軸とした先進分野

強み

- 国内事業：太陽光や自社開発力を活かした陸上風力、蓄電池の各事業。電力の需給管理・調整および需要家に電力を販売する事業による収益機会拡大
- 海外事業：デンマークのEuropean Energyへの出資参画を通じ、成長市場における事業基盤を構築
- 水素や次世代太陽電池など先進分野に着目し、将来の事業機会を見据えた実証参画を通じて成長機会を確保

プレゼンス／ポテンシャル

長期安定適格太陽光
発電事業者※2の認定
(三菱HCキャピタルエナジー)

国内**3社**のうち**1社**

太陽光・陸上風力を中心とした
国内外の保有発電所出力数

1.7GW

European Energyの
自社開発による累計実績

4.1GW

※2 経済産業大臣が認定する太陽光発電の長期安定化を担う事業者。



航空



主な事業内容

航空機リース、航空機エンジンリース・パーツアウト
(エンジン解体・部品販売)、日本型オペレーティング
リース※3、航空機/エンジンの売買媒介等

強み

- 航空機・エンジンの取得から運営、退役までの資産管理を、グループ一体・ワンストップで担うライフサイクル型ビジネスモデル
- 新型ナローボディ機・新型エンジンを中心とした質の高いポートフォリオ
- エンジンリースの業界リーダーシップと、パーツアウトを含む事業運営・収益化力

プレゼンス／ポテンシャル

航空機リース会社 Jackson Square Aviation (JSA) の
保有・管理機数(成約済み機数を含む)

344機

JSAの新型航空機比率

78.9%※4

航空機エンジンリース会社 Engine Lease Finance
(elfc) の保有エンジン基数

428基

elfcの新型エンジン比率

82.8%

※3 航空会社・海運会社向けの航空機・エンジン・船舶等のオペレーティングリース。組合契約に基づく出資や資産保有等の形態で本邦投資家に販売。

※4 第三者保証取得済みの実績値。



ロジスティクス



主な事業内容

海上コンテナリース事業、鉄道貨車リース事業、
国内・ASEANでのモビリティ事業(フリートマネジメントサービスおよび周辺事業)

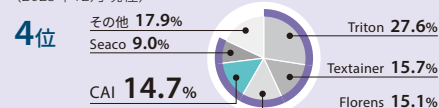
強み

- 海上コンテナリース事業
- グローバルな営業網を基盤とした市場インテリジェンス機能
- 鉄道貨車リース事業
- リスク耐久性が強くバランスの取れたポートフォリオ
- モビリティ事業
- 当社グループや株主、外部パートナーとの営業・事業連携

プレゼンス／ポテンシャル

海上コンテナリース会社 CAI International の
コンテナリース市場※5世界シェア

(2025年12月現在)



出典：Container Census & Leasing Annual Review and Forecast of the Container Equipment Fleet ANNUAL REPORT 2026/27

2027年のASEANでの自動車
販売台数予測※6

384万台

※5 TEU (Twenty-foot Equivalent Units) ベース。20フィート(約6メートル)のコンテナ1本を1TEUとする国際的な換算単位(40フィートコンテナは2TEU)。
※6 マークラインズ株式会社「GlobalData販売予測」より。



不動産



主な事業内容

不動産(オフィスや物流、ホテル、レジデンス、商業施設等)を対象とする、ファイナンス、投資、アセットマネジメントの3事業を軸に展開

強み

- 当社グループが事業を通じて長期的に関係性を築いた強固な顧客・パートナー基盤
- ファイナンス、投資、アセットマネジメント機能を活かした環境に左右されない柔軟な案件対応力
- 豊富な投融資経験と専門人財によるアセットの目利き力・リスク対応力

プレゼンス／ポテンシャル

不動産事業本部の対象とする
主たるマーケット規模※7

国内収益不動産

352兆円

そのうち証券化対象となった不動産

67兆円(約19%)

※7 ニッセイ基礎研究所不動産レポート「わが国の不動産投資市場規模(2025年)」より。